

巴西西線時報

—第十六信—

南鳩生

坂本氏宅での會合は、初めて少數の座談會はあつたが、局問題に熱心な研究者であるだけに座談に緊張感が乗り、夜の更けるを知らなんだ。又、時局問題を離れて、衛生問題、教育問題が出て、坂本氏と森末松氏が私に向つて攻撃の矢は、なれたが、私は大いに感心ざるを得なかつた。

餘談ではあつたが、尙一つ附記しておきたい事は、昨年五月林大使がノロエス總領事地視察の際、植民者の懇親迎席に臨み挨拶なされ

た中に、或る場所では、湯浴場製外套なり、また勿體なく

演されたが、あれは一般外交官の禮服でもあるのか、坂本氏と池戸氏に訊ねられたが、兎に角問題

の研究、話の筋立てには、私

對しては私の知れる範囲に於て、出来ただけ詳明な説明を聽解

されたが、森末松氏が私に向つて、坂本氏と我意を得たりと思は

ず微笑まざるを得なかつた。

百餘頭の養豚及び他の副産物を共に、私の常に叫んでゐる復農

式を事實に示して成績を挙げつ

ては時代の高價必らずも失敗でな

かつたことを明かに説明してゐる

ことは午後三時から私の爲めに

座談會を開かれ、谷口氏會長に

り日の暮れるまで、時局問題や、兒童教育問題など話し合つたが、集ま

れる人々は孰れも熱心なので、互

ひに得る處少ながらずであった。

晚餐は農場建物の食堂にて催され、食後別室にて日米問題が話題

となり海軍比較で日本斷然優秀さ

ある。エスラビア銀行員との旅行を了つたので

あるが、途中アリゾン州に

ルにて、此地に一晩泊つて別

の日の朝早起きで、車にてバッ

